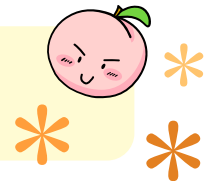


「きんぴらごぼう」



みなさんこんにちは。今日はごぼうのお話をします。

ごぼうは1000年も昔に中国から薬草として伝わりました。ごぼうを野菜として栽培して食べるのは、日本や韓国、台湾ぐらいといわれています。5月は香りのよい新ごぼうが出回ります。

きんぴらごぼうの「きんぴら」とは、「まさかりかついだ、金太郎」で知られる足柄山あしがらやまの金太郎こと、坂田金時さかたのきんときの息子の坂田金平さかたのきんぴらからつけられたようです。

とても力が強かった「金平きんぴら」にあやかって、きんぴらは、強いものの例えとされました。そこで根の野菜である、れんこんやごぼうなどをささがきやせんぎせんぎ千切りにして、油でいため、味付けをして作った料理のことを「きんぴら」と呼ぶようになりました。これでお話を終わります。

